

(6)各県・北陸農政局・北陸地方整備局 の支援策



主な発注関係の市町村支援(R6年度実績)

新潟県公共事業執行円滑化協議会

- ✓ 道路施設点検業務の複数市町村一括発注(R6:15市町村)
- ✓ 道路施設の老朽化対策に関する会議や、技術力向上のための現地講習会を実施
- ✓ 県・市町村職員合同参加の技術管理に関する説明会を開催(オンライン開催及び録画データ提供)
- ✓ 県・市町村職員合同参加の積算基準に関する説明会を開催(オンライン開催及び録画データ提供)

総合評価落札方式の導入

- ✓ 各市町村の実態に合わせた総合評価制度運用への助言
学識経験者意見照会～発注～評価～契約までを総合的にサポート
- ✓ 学識経験者として「地域整備部副部長等」を派遣
- ✓ 企業の技術力評価のために県発注工事の工事成績データを提供

土木職員のための研修

- ✓ 総合的な事業執行能力と様々な現場に応用・活用できる実践的な技術力の取得等を目的とした土木部研修への受入 (R6:市町村職員216名)
- ✓ 新潟県建設技術センターの市町村向けセミナーへ講師派遣

北陸ブロック発注者協議会 新潟県部会

- ✓ 北陸ブロック発注者協議会新潟県部会を開催
【内容】 発注者協議会の内容を、県発注業務における取組紹介や、取組導入が前進した市町村からの事例報告等を交え情報共有し、県内発注機関での取組の推進と強化を図る
【開催状況】 令和6年8月6日(ハイブリッド)開催、全30市町村出席・参加
- ✓ 「発注関係事務相談キャラバン」に県部会事務局に加え県地域機関職員が参画し、当該地域における取組の推進及び強化を図る(R6:6市町)

その他

- ✓ 県発注工事の工事検査への臨場
- ✓ 積算システムの最新単価や歩掛をオンライン提供



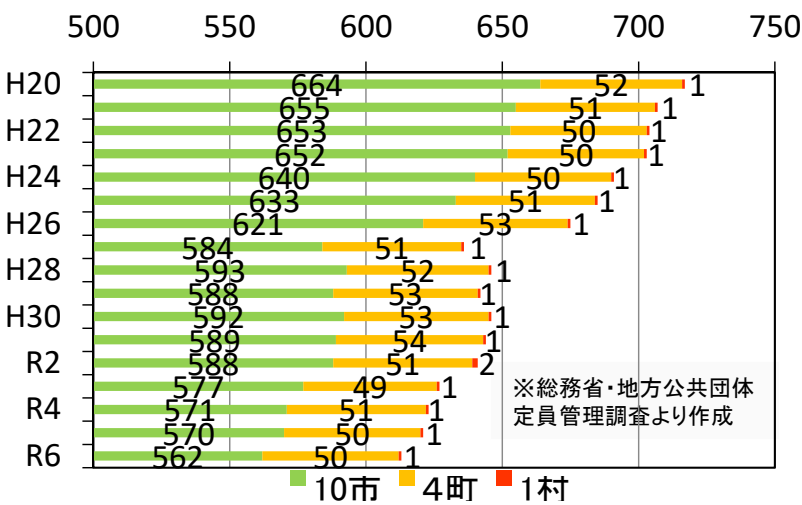
土木部研修



北陸ブロック発注者協議会 新潟県部会

市町村の発注体制の現状と課題

市町村の土木・建築部門職員数の推移(単位:人)



【現状】

- インフラ老朽化対策のため構造物の点検・維持管理や更新、防災・減災事業の推進に伴う発注業務の増加
- 市町村の土木・建築部門の職員数の減少



【課題】

- マンパワー不足、職員の技術力の向上が必要
- 品確法に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」の浸透及び適切な運用

市町村に対する支援

①技術職員研修

- 県と市町村技術職員の合同研修を実施
- 積算関係(積算基準説明会、災害復旧事業実務講習会)
- 技術研修(橋梁点検、測量技術など)

②発注等の支援(富山県建設技術センター)

- 工事の積算業務及び管理業務の受託
- 公共土木施設長寿命化に関する支援
- 災害復旧費用の助成

③総合評価導入等に対する支援

- 総合評価の実施にあたり、総合評価委員(事務所の次長・所長代理)として参画し、総合評価に関する技術的助言を実施

④北陸ブロック発注者協議会 富山県部会を開催

- 市町村の発注事務の参考となるよう、次の項目等について富山県の取り組みを紹介

- 請負代金内訳書の提出
- 低入札調査基準価格等の見直し
- 発注・施工時期の平準化
- 週休2日制工事(月単位)の実施
- 適切な設計変更等
- 検査書類限定型の試行 など



令和6年8月1日開催

発注関係事務の適切な実施に向けた市町支援

①担当職員の育成

- ◇ 積算研修や現場監督研修、構造物設計、演習などの研修を実施
- ◇ 県庁にて市町職員を研修生として1年間受け入れ



積算研修状況

②発注関係事務等の支援

- ◇ 共同で積算システムを利用できるサーバをクラウド上に保有しており、希望する市町が個別に契約して使用することで、システム開発や保守に係る負担軽減を図る
- ◇ 総合評価方式における学識経験者として土木事務所長等を派遣

③発注者間の連携強化

- ◇ 北陸ブロック発注者協議会の県部会等を通じて、発注関係事務に係る県内全市町の取り組み状況を共有
R6年8月9日 WEB併用開催、市町(18市町):WEB参加
【石川県の取組紹介】
 - ・施工時期の平準化
 - ・いしかわ週休2日工事の推進
 - ・建設業におけるICTの活用推進
 - ・設計図書のスリム化 など



北陸ブロック発注者協議会 石川県部会

発注者支援のR6年度実績

1 説明会・講習会

(1) 入札・契約制度等説明会

北陸農政局管内の建設工事・コンサルタント業務に携わっている企業に対して、管内国営事業の実施状況を概説するとともに、令和6年度の入札・契約制度の改正点等について、説明会を開催。

(4月25日: 石川県文教会館)

【入札・契約制度等説明会】



(2) 若手技術者向け現地見学会

北陸農政局では、次世代を担う係員級の若手技術者を対象とした現地見学会を2回開催。

7月26日に、令和6年度能登半島地震に係る災害復旧実施地区において、被災現場・施設を対象に実施。

12月20日に、九頭竜川鳴鹿土地改良区において、国営九頭竜川下流地区(H11～H30)を対象に実施。

事業所職員及び土地改良区職員との意見交換を通じて、災害復旧事業の内容、土地改良施設の役割について理解を深めた。

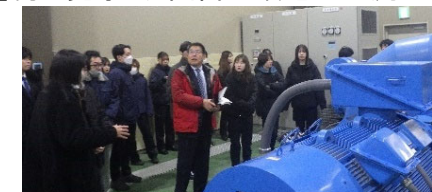
【現地見学会: 能登半島地震被災現場】



2 工事検査の臨場立会

北陸農政局直轄工事の現地検査や書類検査に臨場立会し、検査技術の習得や工事完成図書の整理方法等の知識を得る機会を提供。随時、申し込みに関する相談受付。

【現地見学会: 国営九頭竜川下流地区】



3 相談窓口開設と対応

北陸農政局管内における農業農村整備事業による公共工事の設計・積算、入札・契約、監督・検査等の発注者支援としての窓口を開設し、電話、メールによる問合せに随時対応。

発注者支援のR7年度計画

1 説明会・講習会

(1) 入札・契約制度等説明会

北陸農政局管内の建設工事・コンサルタント業務に携わっている企業に対して、管内国営事業の実施状況を概説するとともに、令和7年度の入札・契約制度の改正点等について、説明会を開催。(令和7年4月24日: 石川県金沢市文化ホール)

(2) 若手技術者向け現地見学会 現地研修会・意見交換会を2回開催予定

2 工事検査の臨場立会

北陸農政局直轄工事の現地検査や書類検査に臨場立会し、検査技術の習得や工事完成図書の整理方法等の知識を得る機会を提供。随時、申し込みに関する相談受付。

3 相談窓口開設と対応

北陸農政局管内における農業農村整備事業による公共工事の設計・積算、入札・契約、監督・検査等の発注者支援としての窓口を開設し、電話、メールによる問合せに随時対応。

発注関係事務に関する 北陸地方整備局の支援

目次

発注関係事務に関する支援メニュー

(令和6年度)

令和6年5月

北陸地方整備局
公共工事発注者支援本部

はじめに	1
I. 支援メニュー一覧	2
II. 支援メニューの概略の年間スケジュール	4
III. 支援メニューの項目	
1. 各機関の総合評価審査委員会への職員派遣	5
2. 職員研修への県や市町村職員の受講受け入れ	6
3. 県や市町村が開催する研修への職員派遣	8
4. 総合評価関係事務の演習講習会の開催	9
5. 直轄工事検査への臨場受け入れ	10
6. インフラDXの推進	10
7. 改正品確法等及び発注関係事務説明会	12
8. 生産性向上等説明会	13
9. 公共工事の発注関係事務相談キャラバン	14
10. 品質確保等に関する相談窓口の開設	15
11. 港湾空港部の支援メニュー	16
12. 営繕部の支援メニュー	18
13. 各相談窓口一覧（支援カード）	20
(参考) 北陸農政局の支援メニュー	21

北陸地方整備局における品質確保に向けた支援

- ❑ 「発注関係事務に関する支援メニュー」を活用し、「発注関係事務の運用に関する指針」に基づく各市町村の取り組みを支援。
- ❑ 県部会・WG・キャラバン等を通じて、「発注関係事務に関する支援メニュー」の活用及び各種講習会への参加を促すとともに、自治体が抱える疑問・問題等に対して必要な支援を実施。

R06.05.31 R06.06 R06.08 県部会 R06.11 WG R06.12 幹事会 R07.03



- 「発注関係事務に関する支援メニュー」
- ・ 総合評価審査委員会への委員派遣
 - ・ 職員研修への地方自治体職員の受講受け入れ
 - ・ 県や市町村が開催する研修への職員派遣
 - ・ 総合評価関係事務の演習講習会
 - ・ 直轄工事検査への臨場受け入れ
 - ・ インフラDXの推進
 - ・ 生産性向上等説明会
 - ・ 公共工事の発注関係事務相談キャラバン
 - ・ 品質確保等に関する相談窓口の開設
 - ・ 港湾空港部・営繕部の支援メニュー



- 総務部**
- ◆ 協議会定期総会等の開催
 - ◆ 各種情報(通達等)の提供
 - ◆ 公共工事の契約業務に関する情報共有

- 港湾空港部**
- ◆ 港湾等事業実施円滑化会議
 - ◆ 港湾関係補助事業担当者会議
 - ◆ 港湾施設の維持管理技術に係る講習会
 - ◆ 総合評価審査委員としての職員の派遣

総務部・港湾空港部・営繕部



- 営繕部**
- ◆ 北陸地区営繕主管課長会議の開催
 - ◆ 「公共建築相談窓口」を通じた支援・助言(通年)
 - ◆ 公共建築工事にかかる各種説明会への職員の派遣

① 各機関の総合評価審査委員会への職員派遣（R06実施状況・R07計画）

【目的】 落札者決定基準を定めるための学識者への意見聴取にあたって、総合評価審査委員として職員を派遣することで、自治体への総合評価の取り組みを支援

職員の派遣によるメリット

- ◆ 総合評価に関する技術的助言だけでなく、入札・契約全般についても相談が可能
- ◆ 派遣職員に対する謝金、交通費は国負担

派遣自治体の感想

- ◆ 実際に多数の総合評価方式を実施している国からの助言は有益であり、派遣職員の指摘内容を踏まえ、適切にアドバイスを頂き、入契手続きに関する事務に活かされている。
- ◆ 地域特性を勘案していただいた上で入札方法、施工管理等の留意点についての助言を事務等に反映させることができた。

令和6年度の取り組み【継続】

- 評価項目の設定・配点に苦慮している自治体に、地整職員（副所長）をアドバイザーとして紹介する。

② 職員研修への県や市町村職員の受講受け入れ（R06実施状況・R07計画）

【目的】

◆ 総合評価など、公共工事の品質確保、生産性向上等に関する職員研修に県や市町村等の職員を受け入れ、知識の習得を支援。

●R6県や市町村職員を受け入れた研修一覧

研修名	研修期間	参加者	内訳
監督・検査【Web研修】	5／14 ～ 5／16	2	射水市2
道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅰ)【東部】	6／10 ～ 6／13	4	新潟県1、上越市1、湯沢町1、滑川市1
用地事務(初級)	6／11 ～ 6／14	4	新潟県4
道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅰ)【西部】	6／25 ～ 6／28	17	富山県1、高岡市1、石川県3、羽咋市1、金沢市1、白山市3、野々市市1、津幡町2、内灘町1、小松市1、加賀市1、能美市1
基礎技術(Ⅰ期)	7／1 ～ 7／4	1	新潟市1
道路行政(Ⅰ期)	7／10 ～ 7／12	1	石川県1
地域づくり・まちづくり	10／29 ～ 11／1	2	長岡市1、新発田市1
雪寒行政(Ⅰ期)	9／17 ～ 9／20	1	石川県1
基礎技術(Ⅱ期)	10／21 ～ 10／24	1	富山県1
河川・ダム管理技術	11／12 ～ 11／15	1	石川県1
河川行政(Ⅱ期)	11／26 ～ 11／28	1	石川県1
道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅱ)【Web研修】	12／10 ～ 12／12	4	新潟県1、長岡市1、富山市1、高岡市1

令和7年度も継続して実施

③ 自治体研修への講師派遣（R06実施状況・R07計画）

【目的】県や市町村が開催する公共工事等の品質確保、総合評価、生産性向上等に関する職員向け研修に北陸地方整備局の職員を講師として派遣することにより、知識の習得を支援。

●自治体研修への講師派遣

新潟県土木部職員研修「建設ICT技術活用(第1回)」、「建設ICT技術活用(第2回)」に、北陸地方整備局の職員を講師として派遣。

開催日時：第1回：令和6年10月18日(金)、第2回：令和6年10月23日(木)

開催場所：新潟県自治研修所 情報棟3階 第7研修室

受講者数：第1回：新潟県の職員20名が受講

第2回：新潟県の職員12名が受講

講義内容：今後、ICT技術の取り組みが拡大されることから、その理解と基礎知識の習得をするため、ICT活用工事の施工管理及び検査について講義を実施。



令和7年度も継続して実施

④－１ 総合評価関係事務の演習講習会（R06実施状況・R07計画）

【目的】

- ◆ 品確法及び総合評価落札方式の概念、工事及び業務に関する総合評価落札方式及び入札の運用についての知識の習得を支援。
- ◆ 総合評価落札方式の導入・拡大に向けた発注者のサポート体制の充実・強化。
- ◆ 本講習会は、平成23年度から実施を開始し、今年度が14回目の開催。

【令和6年度】

- ◆ 演習は、令和7年1月よりWEBにより演習講習会を開催。

◇ 演習講習会 内容

- ◆ 総合評価落札方式の概要
 - ・ 総合評価落札方式導入の必要性、総合評価落札方式の進め方
- ◆ 総合評価落札方式の適用
 - ・ 施工能力評価型Ⅱ型（簡易確認型）における受発注者の事務量軽減のための取り組み
 - ・ 業務の総合評価落札方式の概要
 - ・ 総合評価落札方式におけるダンピング対策への対応について
- ◆ 演習
 - ・ 演習問題A 施工能力評価型Ⅰ型（簡易型）
 - ・ 演習問題B 施工能力評価型Ⅱ型（特別簡易型）（「簡易確認型」の総合評価落札方式）

令和7年度の取り組み【継続】

※ 開催時期、実施方法については別途検討

- ◆ 自治体からの質問等（WG・キャラバン等）として「総合評価導入の必要性」「総合評価の進め方」「総合評価落札方式の方法」があることから、継続して講習会を実施。

⑤-1 直轄工事検査への臨場受入（R06実施状況・R07計画）

【目的】

- ◆ 直轄工事における検査に県や市町村の職員が臨場立会を行い、発注関係事務を適切に実施できるよう、検査技術の習得を支援。（平成17年4月の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行を受け平成18年度より実施）

令和6年度 対象工事リスト

工事担当事務所	工 事 名	施工場所	検査種別	検査時期の見込み	工期末（R6.12月時点）	工事規模
信濃川下流河川事務所	信濃川下流小須戸橋橋脚（P4）工事	新潟県新潟市南区上八枚地先	既済部分検査 （中間技術検査）	令和7年3月下旬	R8.3.25	A
新潟国道事務所	R1-4朝日温海道路 4号トンネル工事	新潟県村上市大沢地先	完成検査	R7.3.25	R7.3.15	A
利賀ダム工事事務所	利賀トンネル（2工区）工事	富山県南砺市利賀村草嶺地先	中間技術検査	R7.3月中旬	R7.3.15	A
新潟国道事務所	朝日温海道路 蒲萄地区地すべり対策工事	新潟県村上市蒲萄地先	完成検査	R7.2月中旬	R7.1.31	A
富山河川国道事務所	R4・5片掛橋下部その6工事	富山県富山市伏木地先	完成検査	R7.2.12	R7.1.31	A
利賀ダム工事事務所	利賀トンネル（1工区）工事	富山県南砺市利賀村地先	中間技術検査	R7.3月中旬	R7.3.15	A
新潟国道事務所	栗ノ木道路 栗ノ木高架橋下部（下り・P18-20、ONA2-1P2）工事	新潟県新潟市中央区紫竹1丁目地先	完成検査	R7.3月下旬	R7.3.31	A
新潟国道事務所	栗ノ木道路 栗ノ木高架橋下部（下り・P27-29）工事	新潟県新潟市中央区本馬越2丁目地先	完成検査	R7.3月下旬	R7.3.31	A
長岡国道事務所	国道17号新浦佐大橋（渡河部）下部その2工事	新潟県南魚沼市浦佐地先	既済部分検査 （中間技術検査）	R7.3月中旬	R7.3.31	A
信濃川河川事務所	信濃川塩殿遊水地整備その5工事	新潟県小千谷市塩殿地先	完成検査	R7.3.24～31	R7.3.24	A
信濃川河川事務所	大河津分水路新第二床固改築Ⅰ期その2工事	新潟県長岡市寺泊野積地先	既済部分検査	R7.3月下旬	R7.9月下旬	A
信濃川河川事務所	大河津分水路山地部掘削その22工事	新潟県長岡市寺泊藪田地先	完成検査	R7.1.24以降	R7.1.24	A
新潟国道事務所	R2-5朝日温海道路2号トンネル工事	新潟県村上市大須戸地先	完成検査	R7.3月下旬	R7.3.28	A
金沢河川国道事務所	手取川熊田川樋門新築工事	石川県白山市湊町地先	中間技術検査	R7.3月中旬	R8.2.27	A

- ◆ 開催機関：1月～3月
- ◆ 臨場立会対象者：県、市町村の検査担当職員
- ◆ 開催事務所：管内 7事務所

令和7年度も継続して実施

⑤-2 直轄工事検査への臨場受入（R06実施状況・R07計画）

◎自治体からの要望

- ❑ 月初めの実施の場合、申込期間が短く参加できない場合がある。早めに公表をお願いしたい。
- ❑ 直轄工事の検査方法を学ぶ良い機会なので、今後も継続してほしい。

●令和7年度の取り組み計画

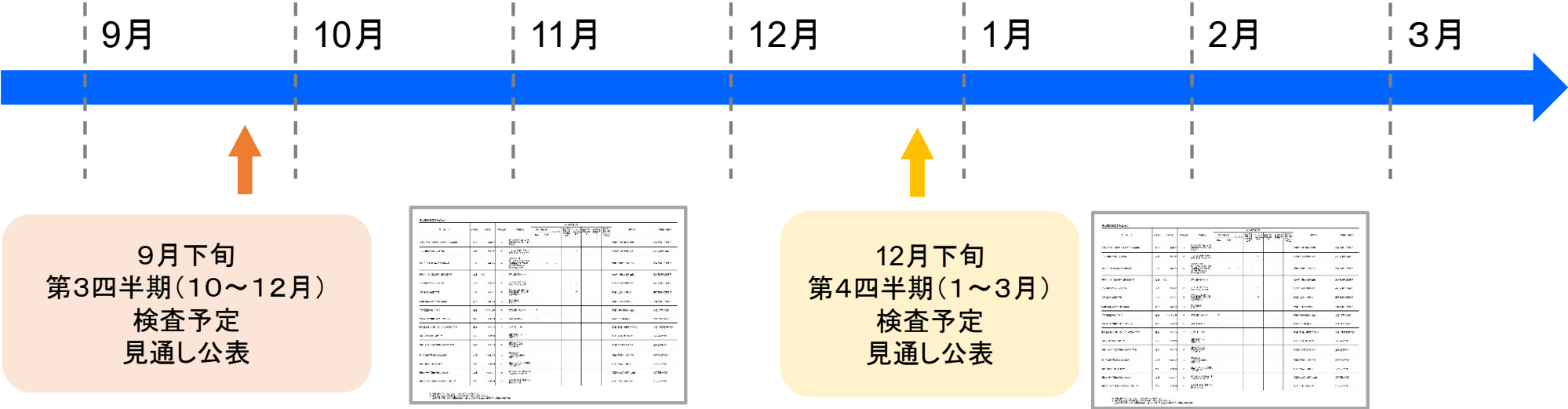
令和6年度は1月から3月の3ヶ月間の開催となったが、次年度は開催時期を早め、より多くの自治体職員が参加可能とする。

- ① 9月下旬に第3四半期の検査予定を公表する。
- ② 12月の下旬に第4四半期の検査予定を公表する。

◎検査予定(概略版)記載内容

- ◆工事発注事務所
- ◆工事名
- ◆施工場所
- ◆検査区分(中間・既済・完成)
- ◆検査日または検査時期の見込み

◎対象工事検査予定公表時期のイメージ



⑥-1 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター

北陸インフラDX人材育成センターの設置目的

北陸地方のDX推進拠点として、技術・知見の蓄積、データセンターの整備・管理、研修やDX機器体験を通じたインフラDX人材育成を行う。

屋外実習エリア ICT建設機械実習、重機の遠隔操縦実習、UAV操縦実習を含む3次元測量実習が行えます。

研修ルーム DX技術、GIS操作、BIM/CIM、地形モデル作成、線形・土工・構造物モデル作成、3次元測量、UAV写真測量、ICT施工・機械活用に関する研修を行います。（受講対象者：国土省及び地方自治体職員、建設系企業社員、学生等）

DXルーム どなたでも建設関連のDX技術を体験できます。（事前の申込みが必要です）
①VR体験 ②UAVシミュレータ
③バックホウシミュレータ ④遠隔臨場体験
⑤除雪トラックシミュレータ ⑥3次元測量体験



北陸地方整備局におけるインフラDXの推進

インフラ分野におけるデータやデジタル技術を積極的に導入・活用することにより、北陸地方整備局が所掌する行政手続きの利便性の向上、災害対応の迅速化・高度化、安全で快適な労働環境の実現による働き方改革等の実現を目指します。



国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内
〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5
TEL 025-231-1281 (代表)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>



- JR新潟駅より車20分
- 「JR新潟駅」より、W70 大野・白根線「湯東営業所」行き乗車40分、「下山田」下車、徒歩3分
- 「JR新潟駅」より、B10、B11、B12、B13 萬代橋ライン「青山」行き乗車30分、終点「青山」下車、「青山」のりば6番 W70、W80、W81「月潟・湯東営業所」行き乗車10分、「下山田」下車、徒歩3分

2024年7月作成



国土交通省 北陸地方整備局

北陸インフラDX
人材育成センター

体験・人材育成の拠点



⑥-2 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター



施設概要

03 屋外実習エリア

屋外実習エリアでは、実習盛土を使用してタブレット端末を用いた「3次元測量実習」や「ICT建設機械実習」、操作室からの「遠隔操作実習」が行えます。



操作室からの遠隔操作の様子



見学のお申し込み【事前予約制】および問い合わせ

見学を希望される方は、予約受付サイトからお申し込み下さい。



◀ 予約受付サイト

北陸インフラDX

その他お問い合わせは以下のメールアドレス宛にお願いします。

✉ hokugi-gijyutsu01@hrr.mlit.go.jp

お問い合わせ先 北陸技術事務所 TEL 025-231-1281 (代表)

01 DXルーム

DXルームでは、建設分野におけるDX技術や各種シミュレータ等をどなたでも体験できます。
※体験にあたっては、事前の申し込みが必要になります。

VR体験 VR (仮想現実) 空間での各種体験の他、3次元モデルを組み込んだMR (複合現実) やAR (拡張現実) が体験できます。

UAVシミュレータ VR空間内でUAV (無人航空機 ※通称ドローン) の操作が体験できます。

バックホウシミュレータ バックホウのコクピットを模した椅子に座り、目の前のモニターを見ながらバックホウの操作が体験できます。このシミュレータは、重機オペレーターの基本技能習得にも活用できます。

遠隔臨場体験 ウェアラブルカメラ等の遠隔臨場デバイスを用いて、DXルームと屋外実習エリアを接続し、建設現場における遠隔臨場が体験できます。

除雪トラックシミュレータ VR空間内で除雪トラックの操作が体験できます。このシミュレータは、除雪オペレーターの基本技能習得にも活用できます。

3次元測量体験 タブレット端末を用いて、3次元点群データの作成が体験できます。

02 研修ルーム

屋内研修施設は、3次元データの操作をスムーズに行うことができる高性能パソコンや大型モニター等の設備を備えた研修ルームで、最大12名が同時に学習することができます。

研修は、下表の内容で行っており、座学やハンズオンにより、建設分野の各段階におけるDX技術を習得することができます。



研修コース	研修内容
【初級】DX技術	インフラDX概論、3次元化及びDX技術体験、GIS技術の活用
【初級】3次元測量(基本操作)	3次元点群測量の概要、出来形管理要領の概要、3次元点群データ処理
【初級】BIM/CIM(基本操作)	BIM/CIMの概要、事例紹介とBIM/CIM演習
【中級】GIS	GIS概論、GIS操作研修、最新の動向
【中級】UAV写真測量	UAV写真測量の基礎、UAV写真測量見学体験、UAV写真測量解析
【中級】3次元測量(3次元データ作成)	出来形管理要領の概要、3次元点群データ生成プロセス、モバイル端末を用いた3次元計測、点群データ処理
【中級】BIM/CIM(地形モデル作成)	BIM/CIMモデルの活用法、3次元地形モデル作成
【中級】BIM/CIM(線形・土工形状・構造物モデル作成)	線形・土工形状モデルの作成、構造物モデル作成基礎
【中級】ICT施工	ハンズオン施工用3次元データの作成、ハンズオンICT建機による施工



⑥-3 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター(R06実施状況・R07計画)

令和6年度 実施

富山防災センターでDXルームの出張体験会を行いました

- 日 時 : 令和6年12月3日(火)～12月5日(木)
各日9:30～16:00
- 参加者 : 富山県、富山市、北陸農政局、建設業会社ほか
計113名
- 会 場 : 富山防災センター(北陸技術事務所 富山出張所)

令和7年度 計画

石川県金沢市でDXルームの出張体験会を行います

- 日 時 : 令和7年7月15日(火)～7月17日(木)
各日9:30～16:00(1日4回)
- 参加者 : 地元建設会社、地元自治体、地元高校生等
定員144名(3日間合計)
- 会 場 : 金沢流通会館(石川県金沢市問屋町2丁目61番地)

体験状況(R6出張DXルームin富山でのDX体験)



CIM操作体験



UAV操縦体験



VR体験



バックホウシミュレータ体験



遠隔臨場体験



除雪トラック操縦体験



3次元測量体験

運 営 概 要

■運営スケジュール概要

- 1.北陸インフラDX人材育成センターの紹介映像視聴(約5分)
- 2.CIM 3Dモデル操作体験(4人1組 約15分)
- 3.DXルーム体験(各ブース約5分×6ブース)

■1日4コマ(60分/コマ)

- ①9:30～ ②11:00～ ③13:30～ ④15:00～

令和7年度も出張DXルームを予定

⑥-4 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター(R06実施状況・R07計画)

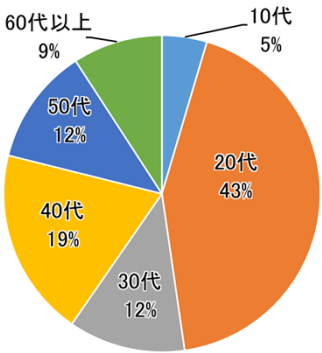
出張DXルーム in 富山 参加者

12月3日	参加者数	12月4日	参加者数	12月5日	参加者数
松本建設(株)	5	(株)高田組	2	近藤建設(株)	9
廣川建設工業(株)	4	松本建設(株)	5	(株)森組	1
高尾建設 (株)	6	朝野工業(株)	7	(株)吉光組	2
(株)新興	1	(株)明翫組	1	加賀建設(株)	4
小林建設(株)	1	砺波工業(株)	4	建設マネジメント北陸西富山支店	6
砺波工業(株)	2	加賀建設(株)	2	北川ヒューテック(株)	3
丸新志鷹建設	2	(株)林土木	3	黒部河川事務所	1
大高建設	2	富山県 土木部建設技術企画課	5	北陸地域づくり協会富山支所	3
(株)林土木	7	富山市まちづくり推進課	1	山室重機 (株)	1
富山県建設業協会	2	富山県新川土木センター	1		
立山町建設課	2	立山町建設課	2		
高岡市	1	岡本工業(株)	2		
建設マネジメント北陸西富山支店	3	富山河川国道事務所	1		
(株) 婦中興業	2	北陸地域づくり協会金沢支所	3		
		北陸農政局農村振興部設計課	4		
小計	40		43		30
合計			113		

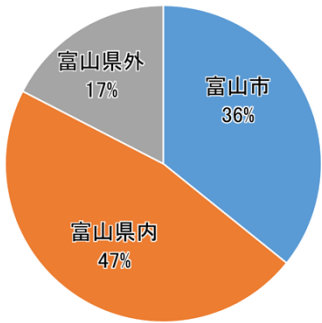
アンケートの回答結果

- ◆ 普段触れられない体験ができて勉強になった
- ◆ 聞きなじみのある内容がほとんどだったが、実際に触るのは初めてだったので貴重な体験となった
- ◆ DX機器に対して興味があっても足踏みしている企業が多いが、そのような人たちに対して大変良い機会だと思う
- ◆ いずれ関わる内容だと思うので、前もって体験できることはとてもためになる
- ◆ 近くに常設してほしい もっと長く体験したい 石川県にも出張してほしい
- ◆ 若手社員にDXを体験させられてよかった
- ◆ BIM/CIM活用における講習(義務項目、推奨項目、適用事例等)を開催してほしい
- ◆ DXデータセンターがもっと自由に使えればよいと思う

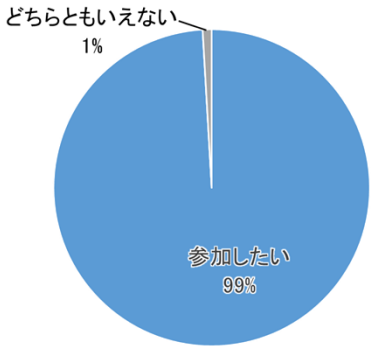
来場者年齢



来場者地域



次回参加について



⑥-5 インフラDXの推進 北陸インフラDX人材育成センター（R06実施状況・R07計画）

北陸インフラDX ホームページの開設(令和5年4月)

① 北陸地方整備局HPトップから



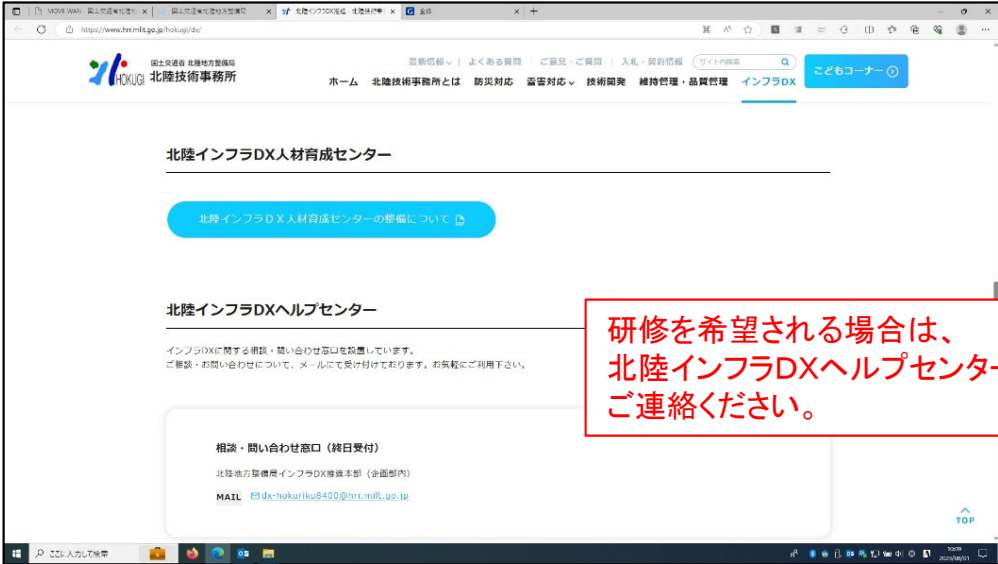
② 北陸技術事務所HPにリンク



③ DXルームの施設体験の受け付け



④ 人材育成センター・ヘルプセンター



⑦ 生産性向上等説明会（R6実施状況・R7計画）

【目的】

- ❑ 工事品質の確保と建設現場のコスト削減や生産性向上を図るため、発注・入札契約・設計積算の担当者並びに監督及び検査職員などを対象に、受発注者が一体となって取り組む工事施工の円滑化4点セット等の各種ガイドラインの説明を行い、円滑な工事の推進が図られることを支援。

【令和6年度】

- ◆ 説明会は、動画配信「YouTube」にて実施（協議会HPにて公表）。
前期：令和 6年9月4日（水）～12月末まで、 後期：令和 7年 1月15日（水）～

【説明項目】

- ① 建設業界における働き方改革への取り組み
- ② 工事事故の発生状況
- ③ 円滑な工事施工の確保・工事書類の簡素化
- ④ インフラ分野のDXの推進
- ⑤ i-Construction関係
- ⑥ 最近の話題
- ⑦ 営繕工事の生産性向上の取り組み

北陸ブロック発注者協議会

令和6年度「工事の生産性向上等説明会（後期）」動画配信

北陸地方整備局では受発注者が対等の立場で協働し、コミュニケーションの充実を図るために「工事の円滑化推進会議」（工事施工の円滑化4点セット）を適用し、工事の生産性を向上させるための有効な手段として活用しています。

本説明会は、受発注者の協働により、工事の品質確保および生産性の向上を図り、良質な社会インフラを提供していくために、これまでのi-Constructionへの取り組みを踏まえ、「インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進し、新たな建設現場の構築を目指すことを目的に開催するものです。

令和6年12月3日（火）に開催した令和6年度の説明会（後期）を下記のとおり動画配信いたします。なお、視聴後は、アンケートの回答にご協力をお願いします。

- ① 「工事の生産性向上等説明会（後期）」資料
- ② 「工事の生産性向上等説明会（後期）」動画（YouTube）
- ③ 「工事の生産性向上等説明会（後期）」アンケート（発注者用）

協議会HPにて公表

週休2日適正労働宣言制度について

建設業界における「働き方改革」は、建設2日の確保、2日の確保を促すため、北陸ブロック発注者協議会として、宣言制度を推進し、労働者の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることを目指しています。

発注者（企業）側

- ① 週休2日の確保を推進し、労働者の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることを目指しています。
- ② 週休2日の確保を推進し、労働者の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることを目指しています。

労働者（個人）側

- ① 週休2日の確保を推進し、労働者の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることを目指しています。
- ② 週休2日の確保を推進し、労働者の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることを目指しています。

動画配信

令和7年度の取り組み【継続】

- ◆ 「業務の生産性等向上説明会」の動画配信を実施。【R7新規】
- ◆ 「業務履行の平準化ガイド」の説明を実施。【R7新規】

業務履行の平準化ガイド

～ 業務平準化の新・五箇条 ～

新・五箇条

- ① 発注時期・納期分散
- ② 納期前倒し
- ③ 適切な工期確保
- ④ 適切な進捗管理
- ⑤ 適切なコスト管理

北陸地方整備局

業務平準化の新・五箇条

1. 国債制度を活用し、発注時期、納期を分散せよ！
2. 早期発注等を活用し、納期の前倒しを検討せよ！
3. 適切な工期の確保、納期の設定をせよ！
4. 業務の進捗管理を実施せよ！
5. 工期を延ばすならば、繰越も検討せよ！

⑧ 発注者関係事務相談キャラバン（R6実施状況・R7計画）

目的

- 公共工事の発注関係事務である入札契約、設計積算、監督検査等一連のプロセスにおいて市町村が抱える悩みや疑問を直接相談できるよう北陸地方整備局職員及び県職員が管内を訪問。
- H29～R1年度の3年間で北陸管内の全64市町村を訪問（H29:20市町村、H30:22市町村、R1:22市町村）。

活動内容

◆ R1年度に1巡目が完了。

- ◆ 2巡目は、「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- ◆ 現状の取組・課題を把握し、推進に向けた具体例等を提示。

- ◆ R1～2年度:概ね人口10万人以上を対象
(R1:長岡市、上越市、富山市、金沢市)
(R2:三条市、射水市、小松市、白山市)
- ◆ R3年度:概ね人口5～10万人を対象
(新発田市、柏崎市、燕市、村上市、高岡市、南砺市、加賀市、七尾市)
- ◆ R4年度:概ね人口5～10万人を対象
(十日町市、五泉市、佐渡市、南魚沼市、氷見市、砺波市、能美市、野々市市)
- ◆ R5年度:概ね人口3～5万人を対象
(妙高市、阿賀野市、魚津市、滑川市、黒部市、小矢部市、入善町、かほく市、内灘町)

- ◆ 「施工時期の平準化」の実施状況の確認。
 - ・ 施工時期の平準化が進まない要因等
 - ・ 現状の取組・課題、平準化の推進に向けた今後の取組
 - ・ 建設業界からの取組に対する評価や要望 等
- ◆ 「全国統一指標」「運用指針」項目の取り組み状況の確認。
 - ・ 「全国統一指標」「地域独自指標」の各項目
 - ・ 「適切な工期設定(週休2日)」「発注見通しの統合」 等

R6取り組み

概ね人口3～5万人の市町村を対象として訪問。
(聖籠町、胎内市、見附市、小千谷市、魚沼市、糸魚川市、立山町、川北町、津幡町の9市町)



令和7年度の取り組み【継続】

- ◆ R7年度も「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施(訪問形式、Web形式を併用)。
- ◆ 概ね人口～3万人の市町村を対象。

⑨ 品質確保に関する相談窓口の開設（R6実施状況・R7計画）

管内の自治体から、『どこに問い合わせれば良いのかわからない』という意見が多く寄せられたことから、名刺サイズの「発注関係支援カード」と「ポスター」を作成して平成28年度から配付。

発注関係事務支援カード（問合せ先一覧）

1. 【入札契約関係】

(1) 競争参加資格

総務部 契約課 工事契約調整係長 ●●(内 2523)

(2) 入札契約手続

総務部 契約課 契約係長 ● (内 2526)

Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

☎025-370-6647

(3) 総合評価落札方式

企画部 技術検査官 ● (内 3124)

Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

☎025-370-6702

2. 【設計積算関係】

(1) 土木工事積算

企画部 技術管理課 基準第一係 ●●, ●●●(内 3321, 3322)

(2) 設計業務積算

企画部 技術管理課 基準第二係 ●●, ●●●(内 3341, 3342)

☎025-370-6702

☎025-370-6702

3. 【施工・監督・検査関係】

企画部 技術検査官 ●●●(内 3123)

☎025-370-6702

4. 【i-Construction 関係】

企画部 技術検査官 ●●●(内 3121)

☎025-370-6702

表面

5. 【建設業法関係】

建設部 計画・建設産業課 建設業係長 ●●(内 6145)

Mail:keikaku-kensetusangyou@hrr.mlit.go.jp ☎025-370-6571

6. 【港湾空港関係】

港湾空港部 品質確保室 ●●(内 6333)

☎025-370-6607

7. 【公共建築関係】

営繕部 計画課長補佐 ●●(内 5153)

Mail:pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp ☎025-280-8705

上記以外の発注関係事務全般

【北陸ブロック発注者協議会 事務局】

北陸地方整備局 企画部 技術管理課 品質確保チーム

Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp ☎025-370-6702

※発注関係事務に関する項目について、いつでもなんでも問い合わせ下さい。

平成 30 年 4 月 1 日作成

裏面

いつでも、なんでも
ご相談ください！

発注関係事務について、
必要な助言
その他の援助を行います。

北陸ブロック発注者協議会とは
「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)を踏まえ、
発注者間の連絡調整、さらには発注者責任を果たす実効ある組織
として、北陸ブロックの国、県、代表市町村、特殊法人等の29機関
(県部会構成員含め79機関)で構成される組織です。
公共工事の品質確保の促進及び工事の生産性向上に向け総
合評価落札方式の導入・拡大を柱として取り組んでいます。

「発注関係事務の
運用に関する指針」
QRコード

冊子「支援メニュー」
QRコード

支援メニューと問い合わせ先

北陸ブロック発注者協議会では、公共工事等の発注事務に関して、その適切な実施に向けて、地方自治体等の
各機関を支援しています。

1. 入札契約関係

(1) 競争参加資格
総務部 契約課 工事契約調整係(内2523) ☎025-370-6647
Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

(2) 入札契約手続
総務部 契約課 契約係(内2526) ☎025-370-6647
Mail:hrr-soumu-keiyaku@ou.mlit.go.jp

(3) 総合評価落札方式
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

(4) 各機関の総合評価審査委員会への委員派遣
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

(5) 職員研修への地方自治体職員等の受講受け入れ
総務部 人事課 研修係(内2331) ☎025-280-8814

(6) 総合評価関係事務の演習講習会の開催
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

2. 設計積算関係

(1) 土木工事積算
企画部 技術管理課 基準第一係(内3321,3322) ☎025-370-6702

(2) 設計業務積算
企画部 技術管理課 基準第二係(内3341,3342) ☎025-370-6702

3. 監督・検査関係

(1) 直轄工事検査への臨場受け入れ
企画部 技術管理課 検査係(内3326) ☎025-370-6702

(2) 施工・監督・検査関係
企画部 技術検査官(内3123) ☎025-370-6702

4. i-Construction関係

企画部 技術検査官(内3121) ☎025-370-6702

5. 建設業法関係

建設部 計画・建設産業課 建設業係(内6145) ☎025-370-6571
Mail:keikaku-kensetusangyou@hrr.mlit.go.jp

6. 公共建築関係

営繕部 計画課(内5153) ☎025-280-8705
Mail:pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

7. 港湾空港関係

港湾空港部 品質確保室(内6333) ☎025-370-6607

8. その他説明会、講習会、相談会等

(1) 改正品確法等及び発注関係事務説明会
(2) ガイドライン(生産性向上)等講習会
(3) 公共工事の発注関係事務相談キャラバン
(4) 品質確保等に関する相談窓口
企画部 技術検査官(内3124) ☎025-370-6702
Mail:hinkaku@hrr.mlit.go.jp

北陸ブロック発注者協議会 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術管理課

TEL 025-280-8880

FAX 025-280-8861

http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/buroukouhou/hyouдай.html

各県部会窓口

新潟県 土木部 技術管理課 技術管理班
TEL 025-280-6391

富山県 土木部 建設技術企画課
TEL 076-444-3138

石川県 土木部 監理課 技術管理室
TEL 076-225-1787

令和7年度も継続して取り組みを実施

20